

お気軽にご相談ください

発達障害のある人は、その特性によって人の気持ちやその場の雰囲気を理解して行動することが難しいなど、社会生活上で困難が生じる場合があります。

しかし、その特性は生まれつきであり、保護者の育て方や本人の努力不足が原因で起きているわけではありません。

年齢や環境などにより困りごとそれぞれ異なり、周囲の人に理解されづらいことがあります。一人で悩まず、まずはご相談ください。

現在抱えている不安を軽減しながら特性とうまくつきあい、対応を工夫することで、より良い暮らしができるよう一緒に考えていきましょう。

発達サポートファイル

乳幼児期から大人になるまでの発達・成長の記録をまとめることができます。様々な相談場面でご活用ください。

発達サポートファイル



豊島区

障害福祉課などの窓口で配布しているほか、豊島区のホームページからダウンロードすることもできます。

豊島区HPは
こちらから▶



相談窓口

《あらゆる年齢層からの発達障害に関する相談》

- 障害福祉課 発達障害者相談グループ
豊島区南池袋2-45-1 03(4566)2445

《こころの相談》

- 健康推進課
豊島区東池袋4-42-16 03(3987)4174
(令和8年5月移転予定)
- 長崎健康相談所
豊島区長崎3-6-24 03(3957)1191

《就労に関する相談》

- 豊島区障害者就労支援センター
豊島区南池袋2-45-1 03(3985)8330

《発達相談・子どもの問題全般に関する相談》

- 児童発達支援センター
豊島区千早4-6-14 03(6777)0370
- 西部子ども家庭支援センター
豊島区千早4-6-14 03(5966)3131
- 東部子ども家庭支援センター
豊島区上池袋2-35-22 03(5980)5275
- 豊島区児童相談所
豊島区長崎3-6-24 03(6758)7910

《就学相談、学校教育・子どもに関する相談》

- 教育センター
豊島区雑司が谷3-1-7
・就学相談 03(3590)6746
・教育相談 03(3971)7440

《障害児通所支援に関する相談》

- 障害福祉課 児童・障害児支援グループ
豊島区南池袋2-45-1 03(4566)2451

《発達障害に関する全般的な相談、 地域支援・普及啓発事業》

- 東京都発達障害者支援センター
・こどもTOSCA(18歳未満の方)
世田谷区船橋1-30-9 03(6413)0231
・おとなTOSCA(18歳以上の方)
新宿区弁天町91番地 03(5579)8207

(情報は令和7年7月現在のものです)

地域で支える

発達障害

発達障害のある人は、周囲の理解と適切なサポートにより、自分らしく生きていくことができます。本人や家族の抱えている困難さを理解し、支援していくことが大切です。



SDGs 未来都市としま



豊島区
TOSHIMA CITY



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

発行：豊島区福祉部障害福祉課
電話：03-4566-2445 / F A X：03-3981-4303

発達障害とは？

脳機能の障害であり、物事の見方、感じ方、理解の仕方、人との関わり方、行動の仕方などに特性がある障害です。

代表的なものとして、

○広汎性発達障害（※）

- ・自閉症
- ・アスペルガー症候群

○LD（学習障害）

○AD／HD

（注意欠陥多動性障害）

などがあります。

（※）ASD「自閉スペクトラム症」という新しい診断名が取り入れられてきています。

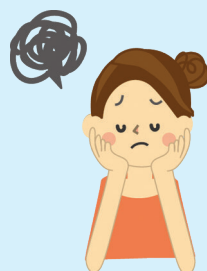


発達障害の特性

主な特性として以下のようなものがあります。年齢や環境により表れ方は違いますが、これらの特性により、色々な経験を積み重ねていくことがあります。

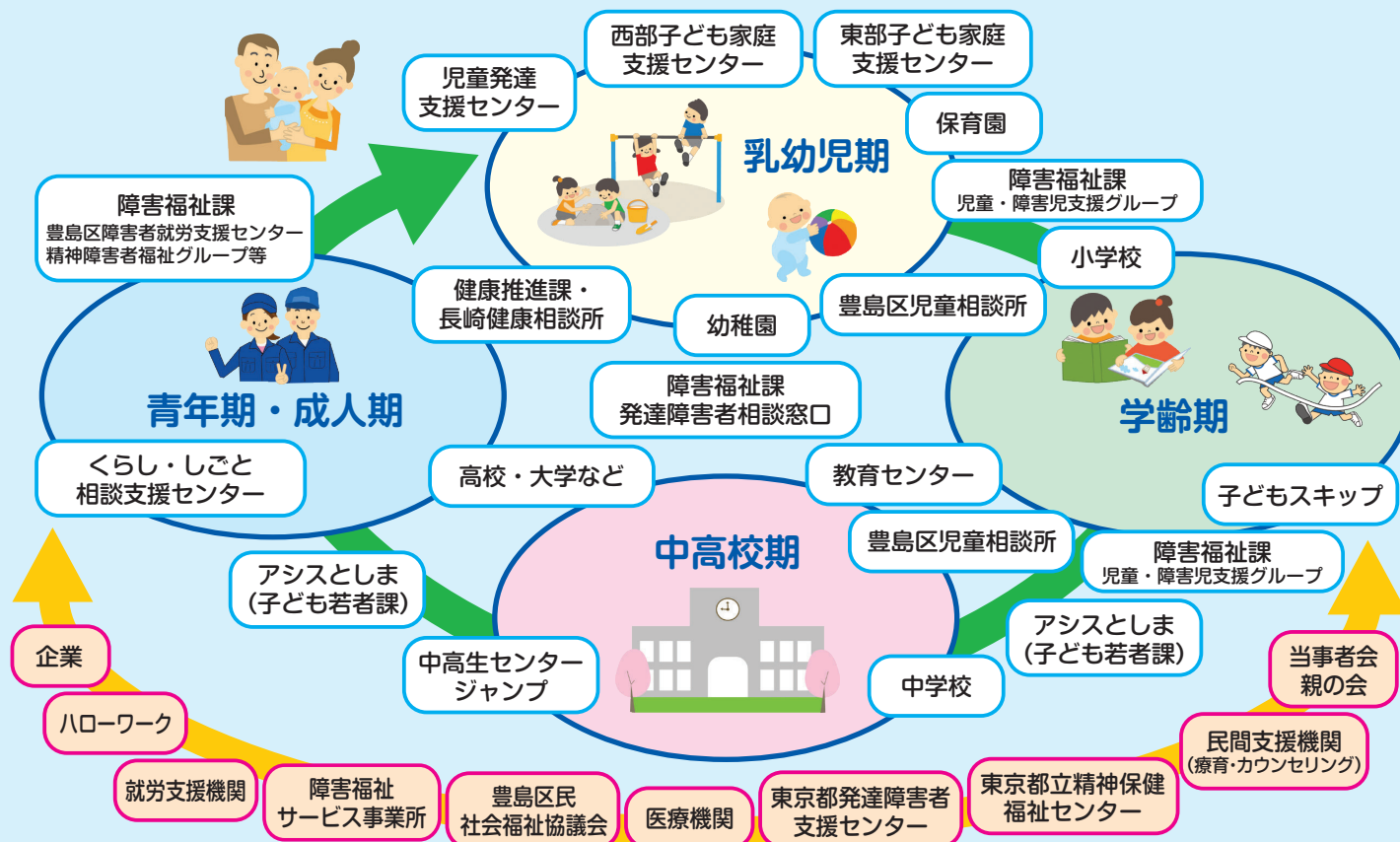
（例）

- 人間関係がうまくいかない
- 仕事や勉強に集中できない
- 物事の段取りが苦手である
- 場の空気がよめない
- 自分のやり方にこだわる
- 同時に複数のことができない
- 急な予定の変更が苦手である
- 落ち着きがなく、じっとしてられない
- 忘れ物、落し物が多い



～それぞれのライフステージでサポートします～

豊島区では、一人ひとりに合ったサポートをするため、関係機関のネットワークを強化しています。年齢や状況に応じて、各機関にご相談ください。



周囲の人のあたたかい支援を

発達障害のある方の困りごとは外見からは分かりにくく、特徴・特性の表れ方も多様なため本人も家族も生きづらさを感じている場合があります。

周囲の人が発達障害を理解し、本人の個性や特性、現在の状況に応じた適切な配慮や支援を行うことより、自分らしく生きていくことができます。

【具体的な対応例】

- 言葉で伝えるだけでなく、実際にやってみせたり、メモやイラストなどにより、視覚的に伝える。
- あいまいな表現を避け、具体的な言葉で伝える。（例：ちょっと待ってて⇒○分間待ってて）
- 一度に複数の情報を伝えず、その時に必要な情報を伝える。

